



# 模擬テストを活用した パスアウトカム評価教育

～理解度向上と医療の質改善を目指して～

医療法人 住友別子病院  
○ 永易 幸乃

## 第21回 愛媛臨床パス研究会

COI開示

筆頭演者氏名：永易 幸乃

所属：住友別子病院 看護部

演題発表内容に関連し、筆頭演者に開示すべき  
利益相反（COI）関係にある企業などはありません。

### はじめに

## 臨床パスとアウトカム評価の重要性

臨床パスは…

バリエーションを収集し**PDCAサイクル**を回すことで

パスの改善を図り、医療の質を向上させる。

そのためには **日々の正確なアウトカム評価** が不可欠である。

### 従来の取り組み

#### 1 動画視聴による アウトカム評価教育

パス基本・応用編  
スライド 57枚

評価画面  
起動方法  
動画 約5分

バリエーションなし  
具体例  
動画 約5分

変動評価  
具体例  
動画 約6分

逸脱評価  
具体例  
動画 約14分

脱路評価  
具体例  
動画 約22分

**症例**

①6歳男性 病名「不安定狭心症」 P10治療実施  
不安定狭心症で治療改善を行っており現在自覚症状はありませんが、心電図で異常な異常が認められ、医師からの指導を受けられた。着床予定入院し、本日の手術からP10治療を行いました。P10後のアウトカム評価を行います。

②70歳男性 病名「肝臓癌」 食道静脈瘤があり、ES治療を行った。  
治療は医師に遵行したが、治療後1日に38.5℃の高熱があり、アスチンでコントロールが利かずに経過せず。医師に報告し、P10の再評価ができた。治療後のアウトカム評価（合併症・再発、再発、再発）を記入することができるの評価を行った。

**脱路とは、パスの継続が可能なバリエーション**  
③6歳男性 病名「重傷」 脳神経外科治療  
OP前より高圧が持続しており、経過であった。また、胸下よりインスリン一剤ドレーンの挿入が多く社会的な苦痛が認められ、OP開始の40分ほど前、前夜の夜間が考えられ、手術室でOPを行った。パスは医師の判断により中止・変更となった。

**逸脱とは、パスを一部変更することによって継続可能なバリエーション**  
④6歳女性 病名「肝臓腫瘍」 子宮頸癌腫瘍摘出術  
術後経過良好、P10の経過観察後、術後1日目38.5℃の高熱があり、アスチンでコントロールが利かずに経過せず。医師に報告し、P10の再評価ができた。治療後のアウトカム評価（合併症・再発、再発、再発）を記入することができるの評価を行った。

#### 2 アンケートで 理解度調査実施 その結果…

## 成果と課題点

理解度調査結果 正解率  
1回目85% 2回目88%

上昇しているが大幅な変化なし  
正解を理解していないままパス利用をしている  
各病棟委員で再度教育・指導していく必要あり

実際の評価場面では  
特に **逸脱 脱落** で誤評価が多発

そこで...

## 対応策と目的

### ■ 対応策 実際の評価場面を想定した模擬テストの導入

対象：病棟看護師 約180名

時期：前期・後期 計2回

テスト後に各病棟委員で  
解説・指導実施

### ■ 目的

実践的な評価教育で  
理解度の向上を目指す

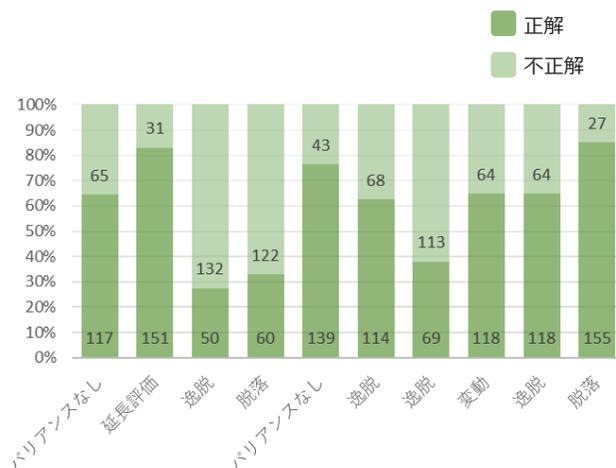
## 前期 模擬テスト結果

10問中、**全体正解率59.9%**

逸脱正解率 **30%**

脱落正解率 **35%**

「パス一部変更・追加指示がある」「パス適応外」など  
**評価経験の少ない事例**で  
誤評価が目立つ



## 改善アプローチ

### 後期テストへの 取り組み

#### 病棟スタッフ教育

各病棟委員で  
前期テストの  
解説・指導実施

#### 弱点強化対策

逸脱・脱落に特化した  
後期テストと  
例題・解説資料を作成

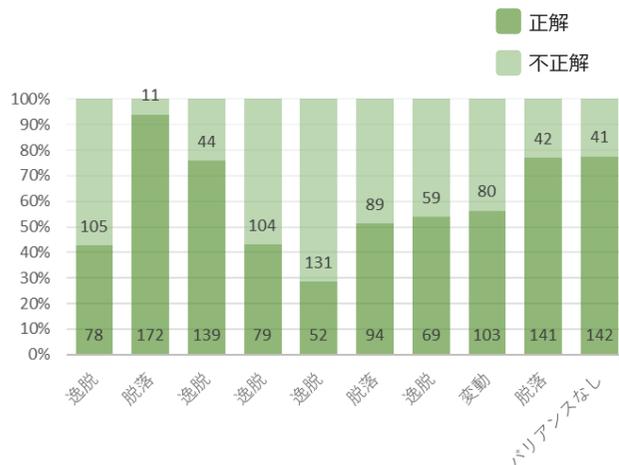
## 後期 模擬テスト結果

10問中、全体正解率**58.4%**

逸脱正解率  
**30% → 40% へ上昇**

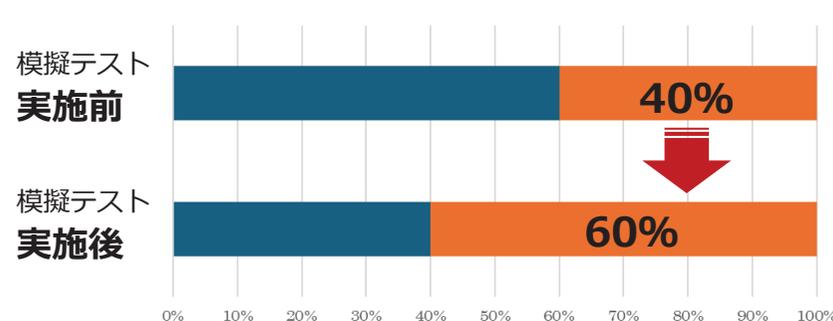
脱落正解率  
**35% → 50% へ上昇**

➔ 逸脱・脱落評価の理解度が向上した!



## 実地評価

■ ERCPパス正解率調査 テスト実施前後で無作為に10件ずつ調査



正解率 **20%UP** ➔ 実践での理解定着が確認できた!

## 考察と今後の展望

### 考察

- ・弱点分析に基づく模擬テスト、例題・解説が理解度向上に寄与
- ・実地での評価精度向上に貢献 → 医療の質改善

### 課題

- ・逸脱・脱落評価のテスト正解率は依然50%以下
- ・評価機会の少なさ、実践経験の不足が要因

### 展望

- ・教育の継続、より効果的な教育方法の検討をしていく
- ・パス改善と教育による医療の質向上
- ・他職種への展開（医師・薬剤師など）

## まとめ

- 正確なアウトカム評価はパス改善の要
- 模擬テストによる教育的効果が確認
- 医療の質向上への有効なアプローチ

ご清聴ありがとうございました。